

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社

コード番号 2767 URL <http://www.fields.biz/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 畑中 英昭

TEL 03-5784-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,341	△44.1	△4,077	—	△4,072	—	△2,509	—
26年3月期第2四半期	36,385	25.0	2,176	—	2,144	—	1,434	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △3,027百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 1,988百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△75.63	—
26年3月期第2四半期	43.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	70,408	—	55,014	—	—	77.4
26年3月期	104,869	—	58,753	—	—	55.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 54,504百万円 26年3月期 58,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△13.0	5,000	△48.9	5,000	△48.8	2,500	△53.4	75.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	34,700,000 株	26年3月期	34,700,000 株
27年3月期2Q	1,516,200 株	26年3月期	1,516,200 株
27年3月期2Q	33,183,800 株	26年3月期2Q	33,183,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は平成26年11月4日(火)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第2四半期連結累計期間(4月～9月、以下「当第2四半期」)の概況]

売上高は20,341百万円(前年同期比44.1%減)、営業損失4,077百万円(前年同期は営業利益2,176百万円)、経常損失4,072百万円(同 経常利益2,144百万円)、四半期純損失2,509百万円(同 四半期純利益1,434百万円)となりました。

業績変動の主因は、下記の通りです。

当社グループは、IP(知的財産)を中核とした循環型のビジネスモデルに基づき、IPの育成・事業化を推進していますが、当第2四半期の業績変動は、主として遊技機販売に起因しています。

遊技機販売においては、パチンコ遊技機約73,000台(前年同期比36,000台減)、パチスロ遊技機約28,000台(同33,000台減)の販売となり、総販売台数は前年同期と比較して減少しました。これは、主に当第2四半期に売上計上した機種数が前年同期と比較して減少したことによるものです。パチンコ遊技機では、前年同期に『CRエヴァンゲリオン8』をはじめ3機種を計上しましたが、当第2四半期は1機種の計上となりました。パチスロ遊技機では、前年同期に2機種を計上しましたが、当第2四半期は販売予定であった1機種を下半期のラインアップへと変更したため、1機種の計上となりました。

当第2四半期の主なIPの育成・事業化の取り組みは、下記の通りです。

当社が推進するIPのクロスメディア展開にあたっては、各メディアに精通したパートナー企業や秀でたクリエイター・プロデューサーと協業しながら推進しています。

キャラクターやストーリーなどのIPの創出には、『月刊ヒーローズ』を中核に取り組んでいます。現在、ヒーローズから生み出された作品のうち5作品について、来期以降の劇場公開およびテレビ放送を見据えた映像化に着手しています。当第2四半期においては、平成26年7月に『ソウルリヴァイヴァー』の米国ハリウッドでの実写映画化に向けた脚本開発を開始したほか、平成26年9月に『ソードガイ 装刀凱』を原作としたアニメコンテンツの開発にも着手しました。

ヒーローズ作品以外にも、映像や小説などを起点としたIP開発やクロスメディア展開に多数参画しています。米国のパートナー企業と共同製作した『アップルシード アルファ』は、北米での映像公開に続き、平成26年10月に開催された東京国際映画祭でプレミア上映されました。平成27年1月に日本国内での劇場公開を予定しています。

IPの収益化を担うマーチャンダイジングの分野では、『ウルトラマン』シリーズにおいて、前期にスタートした新テレビシリーズを継続させ、平成26年7月より『ウルトラマンギンガS』の放送を開始しました。また、『ウルトラマン』シリーズをはじめ株式会社円谷プロダクションが有する多くのIPの認知度向上および活性化に向けて各種施策を推進しました。

ソーシャルゲームにおいては、平成26年9月に、オリジナルIPを活用したアプリ『ことこと-ラセツとコトダマの国-』をリリースしました。配信開始から3週間で50万ダウンロードを超えるなど、計画を上回るスタートを切りました。

遊技機販売においては、平成26年7月に『パチスロ 戦国BASARA 3』、平成26年10月に『CR ayumi hamasaki 2』などを販売しました。

(注) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、33,752百万円と前連結会計年度末比33,168百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、12,314百万円と前連結会計年度末比209百万円の増加となりました。

無形固定資産は、4,390百万円と前連結会計年度末比24百万円の増加となりました。

投資その他の資産は、19,951百万円と前連結会計年度末比1,526百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

以上の結果、資産の部は70,408百万円と前連結会計年度末比34,460百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、11,242百万円と前連結会計年度末比30,487百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少及び未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、4,151百万円と前連結会計年度末比234百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少によるものです。

以上の結果、負債の部は15,394百万円と前連結会計年度末比30,721百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産の部は、55,014百万円と前連結会計年度末比3,738百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13,404百万円減少し、16,178百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、11,111百万円（前年同期は4,554百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失3,641百万円、仕入債務の減少27,255百万円、売上債権の減少24,190百万円、法人税等の支払1,805百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,092百万円（前年同期は1,650百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出908百万円、有形固定資産の取得による支出828百万円、投資有価証券の売却による収入827百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,200百万円（前年同期は1,387百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払828百万円、短期借入金の返済による支出310百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成27年3月期 見通し	平成26年3月期 実績	前年同期比
売上高	100,000百万円	114,904百万円	13.0%減
営業利益	5,000百万円	9,791百万円	48.9%減
経常利益	5,000百万円	9,765百万円	48.8%減
当期純利益	2,500百万円	5,370百万円	53.4%減

通期連結業績予想は、平成26年5月7日発表の「業績予想に関するお知らせ」の通り、公表した内容に変更はありません。

なお、平成26年8月に警察庁より遊技機メーカーの各組合に対して、一般財団法人保安通信協会※におけるパチスロ遊技機の型式試験方法を、平成26年9月16日以降に申請される商品を対象として変更する旨の伝達がありました。当社は、本件を受け、提携メーカー各社と協議の上、迅速に対応しています。

事業展開では、パチスロ遊技機において、投入時期を下半期へ変更した商品の販売を予定するほか、パチンコ遊技機において、平成26年10月に販売を開始し、高い評価を得ている『CRエヴァンゲリオン9』をはじめ、今後投入を予定する商品についても積極的な営業活動に努めていきます。さらに、取り扱い商品の多様化など、遊技機流通の強みを活かした施策を実施していきます。

※国家公安委員会の「指定試験機関」で都道府県公安委員会の委託を受けて遊技機の型式試験を行う協会

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が220百万円減少し、利益剰余金が142百万円増加しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,583	16,178
受取手形及び売掛金	29,155	5,618
商品及び製品	742	768
仕掛品	2,351	3,300
原材料及び貯蔵品	40	78
その他	5,081	7,836
貸倒引当金	△34	△28
流動資産合計	66,921	33,752
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,875	7,737
その他	4,229	4,576
有形固定資産合計	12,104	12,314
無形固定資産		
のれん	1,905	1,749
その他	2,460	2,641
無形固定資産合計	4,365	4,390
投資その他の資産		
投資有価証券	15,607	14,096
その他	6,943	6,903
貸倒引当金	△1,074	△1,048
投資その他の資産合計	21,477	19,951
固定資産合計	37,948	36,656
資産合計	104,869	70,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,105	5,586
短期借入金	634	324
1年内返済予定の長期借入金	58	53
未払法人税等	1,959	139
賞与引当金	350	96
役員賞与引当金	230	141
返品調整引当金	23	22
その他	5,367	4,878
流動負債合計	41,730	11,242
固定負債		
長期借入金	50	23
退職給付に係る負債	675	481
その他	3,659	3,646
固定負債合計	4,386	4,151
負債合計	46,116	15,394

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	44,548	41,351
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	58,670	55,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△262	△853
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整累計額	△126	△112
その他の包括利益累計額合計	△390	△968
少数株主持分	473	509
純資産合計	58,753	55,014
負債純資産合計	104,869	70,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	36,385	20,341
売上原価	22,737	13,420
売上総利益	13,648	6,920
販売費及び一般管理費	11,471	10,998
営業利益又は営業損失(△)	2,176	△4,077
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	86	87
仕入割引	84	222
その他	142	280
営業外収益合計	331	608
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	169	348
出資金償却	156	83
その他	32	167
営業外費用合計	364	603
経常利益又は経常損失(△)	2,144	△4,072
特別利益		
投資有価証券売却益	—	467
その他	—	11
特別利益合計	—	478
特別損失		
固定資産除却損	11	31
訴訟関連損失	9	11
その他	1	4
特別損失合計	22	47
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,121	△3,641
法人税等	770	△1,191
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,351	△2,450
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△82	59
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,434	△2,509

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	1,351	△2,450
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	635	△590
為替換算調整勘定	1	△1
退職給付に係る調整額	—	14
その他の包括利益合計	637	△576
四半期包括利益	1,988	△3,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,071	△3,087
少数株主に係る四半期包括利益	△82	60

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	2,121	△3,641
減価償却費	977	940
のれん償却額	158	165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△213	△254
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△110	△89
退職給付引当金の増減額(△は減少)	42	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	48
受取利息及び受取配当金	△105	△105
持分法による投資損益(△は益)	169	348
支払利息	4	3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△467
売上債権の増減額(△は増加)	20,429	24,190
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,719	△1,013
商品化権前渡金の増減額(△は増加)	△341	△364
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,451	△27,255
その他	220	△1,890
小計	△823	△9,415
利息及び配当金の受取額	120	112
利息の支払額	△6	△3
法人税等の支払額	△3,844	△1,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,554	△11,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△913	△828
無形固定資産の取得による支出	△657	△908
投資有価証券の売却による収入	—	827
関係会社株式の取得による支出	△152	△48
貸付けによる支出	△230	△650
貸付金の回収による収入	4	597
その他	298	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,650	△1,092
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130	△310
長期借入金の返済による支出	△71	△31
社債の償還による支出	△300	—
配当金の支払額	△828	△828
その他	△56	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	△1,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,590	△13,404
現金及び現金同等物の期首残高	23,309	29,583
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△10	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,708	16,178

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。